

# Frame Editor の使い方

Frame Editor は SureLab Layout and ID のフレームを作成するソフトウェアです。

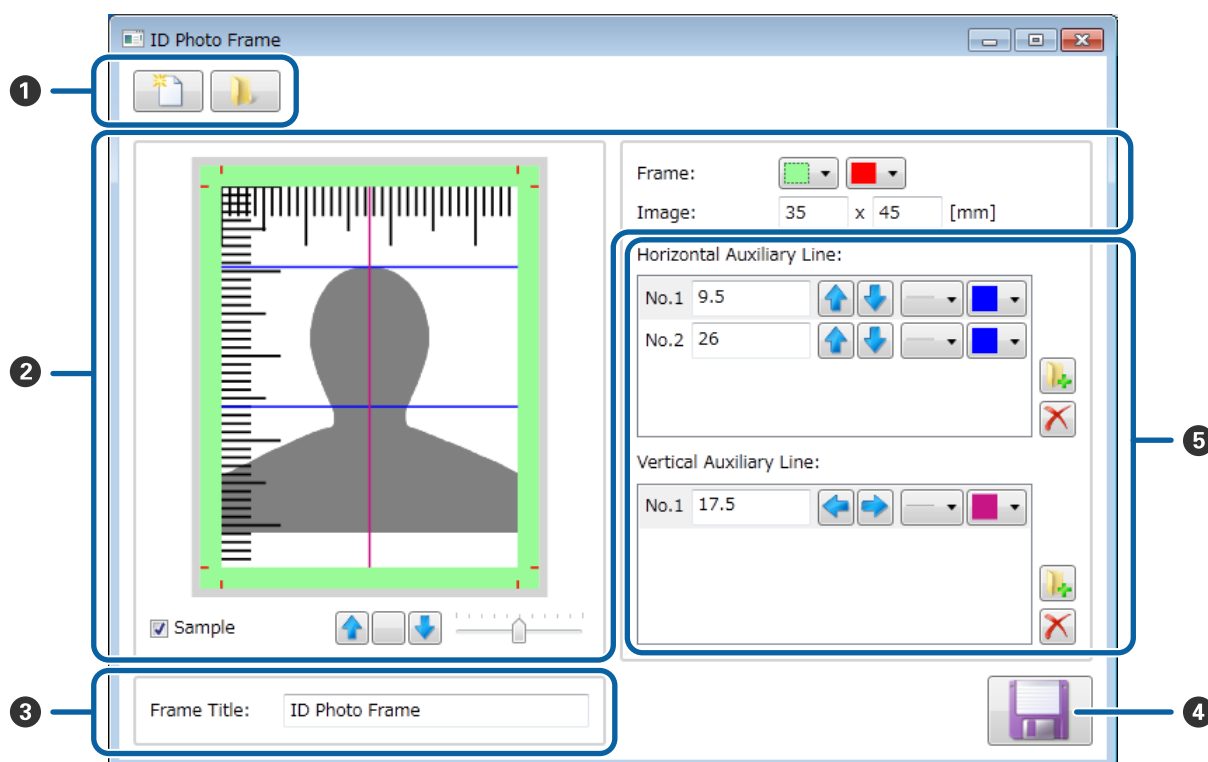
フレームは証明写真フレーム (ID Photo Frame) と、集合写真フレーム (Group Photo Frame) があります。



[🔗 「集合写真フレーム \(Group Photo Frame\)」 3 ページ](#)

## 証明写真フレーム (ID Photo Frame)









ここでは、証明写真フレーム作成・編集機能の画面を説明します。

証明写真フレームには、あらかじめフチ (幅 2.5mm) とトンボ (太さ 0.25mm、長さ 2mm) が付加されています。フチとトンボのサイズは変更できません。



項目	説明
① 新規フレーム作成/作成済みフレーム編集	これから作成/編集するフレームを、次のどちらかから読み込みます。
	 <p>新規フレームを作成します。フレームの書式の初期値は、以下の通りです。            サイズ:35mm (幅) x 45mm (高さ)            補助線:なし            フチの色:白</p>
	 <p>作成済みの証明写真フレームを読み込みます。読み込んだフレームを元にして別フレームを作成できます。</p>

## Frame Editor の使い方

項目	説明
<b>②</b> プレビューエリア Frame Image	スケールは 1mm 間隔で表示されます。 [Sample] にチェックを付けると、サンプルで人物の影が表示されます。サンプルの位置や大きさは、以下で変更できます。
	<div style="display: flex; align-items: center;">            上下に移動できます。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            移動した位置を標準位置に戻せます。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            右にスライドすると拡大、左にスライドすると縮小されます。         </div>
	[Frame] では、以下の通りフチとトンボの色を変更できます。 左側: フチの色、右側: トンボの色
	[Image] では、フレームサイズ (幅×高さ) を変更できます。 設定範囲は 10.0~100.0mm です。
<b>③</b> Frame Title	作成中のフレームの名称を入力します。全半角に関わらず、32 文字まで入力できます。ファイル名の候補になるため、半角記号で以下の文字は使用できません。 ¥ / : * ? " < >
<b>④</b> 保存	作成したフレームを保存します。 [FrameTitle] がファイル名に入力されますが、保存画面でファイル名を変更することもできます。ファイル名は、SureLab Layout and ID にフレームを追加したときのフレーム名としても使われます。
<b>⑤</b> Horizontal Auxiliary Line (水平補助線設定) Vertical Auxiliary Line (垂直補助線設定)	SureLab Layout and ID で画像を編集するときに目安となる水平補助線と垂直補助線を設定します。
	<div style="display: flex; align-items: center;">            補助線が追加されます。補助線はそれぞれ 5 本まで追加できます。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            選択した補助線が削除されます。「Are you sure you want to delete?」とメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると削除が実行されます。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            位置を変更できます。左側の入力エリアに直接、数値を入力して変更することもできます。上端と左端が 0 になります。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            太さを変更できます。         </div>
	<div style="display: flex; align-items: center;">            色を変更できます。         </div>

### 参考

終了時にフレームを保存していないときは、「Settings have been changed. Do you want to discard you changes?」とメッセージが表示されます。[いいえ] をクリックし、保存してください。保存する必要がないときは、[はい] をクリックしてください。

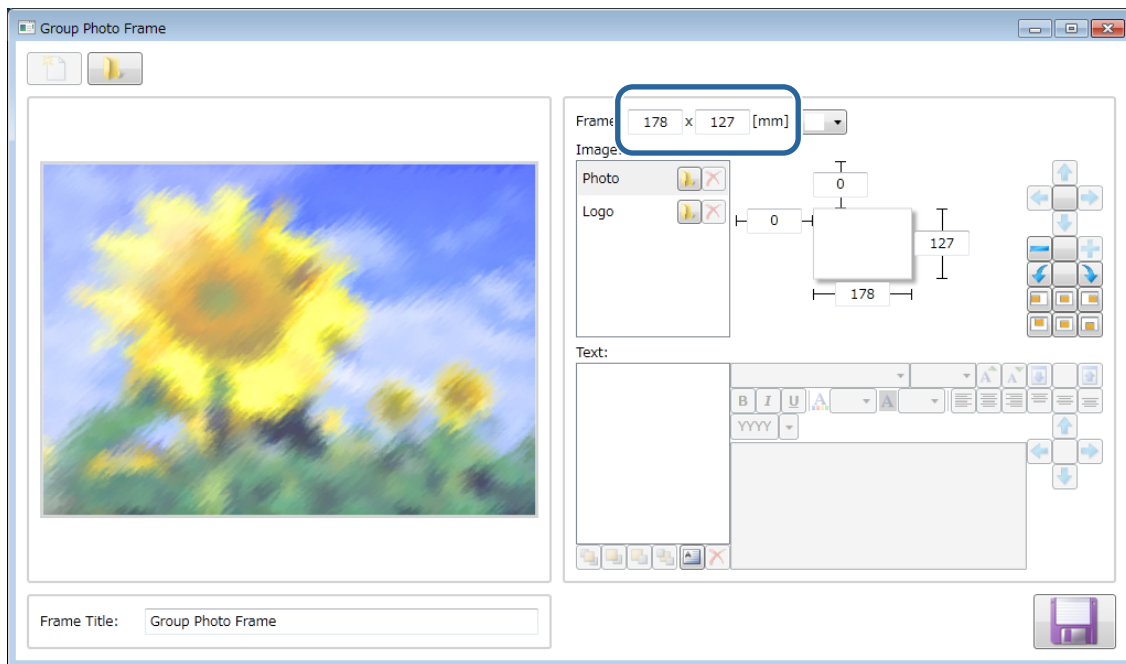
# 集合写真フレーム (Group Photo Frame)

## 基本の操作

フレームを作成する手順を説明します。

### 1 フレームのサイズを設定します。

[Frame:] の数値入力エリアにプリントする写真のサイズを入力します。




#### 参考

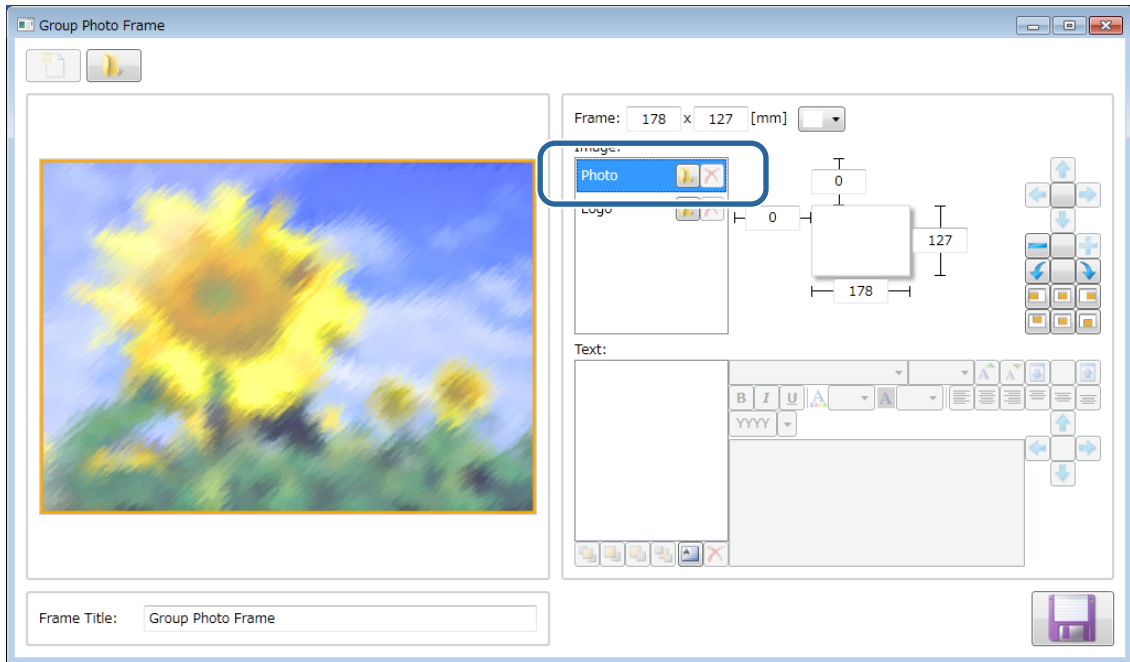
起動時はサイズ:178mm (幅) x 127mm (高さ) 背景の色:白が設定されています。

### 2 写真枠を設定します。

[Image:] で [Photo] をクリックします。クリックすると、プレビューエリアに写真枠がオレンジ色で表示されます。

## Frame Editor の使い方

自分で作成した枠を使用するときは、 をクリックし png 形式のファイルを読み込みます。



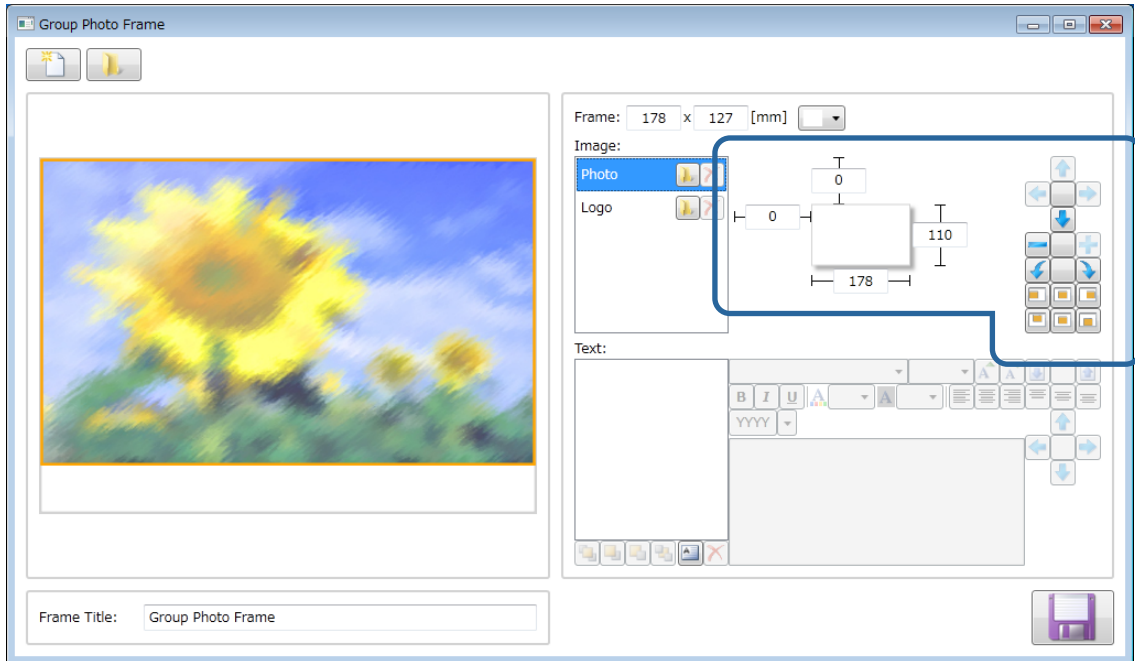
### 参考

- フレームの写真枠内に Layout and ID で写真が配置できます。
- 自分で作成した枠を使用できます。枠は以下の条件で作成します。
  - サイズはプリントする写真に合わせる
  - 背景を透明にする（写真を配置する部分を透明にする）
  - 画像形式を png 形式にする
  - 1 フレームに使用できる枠は 1 つです。


**3** 写真枠のサイズ、位置を調整します。

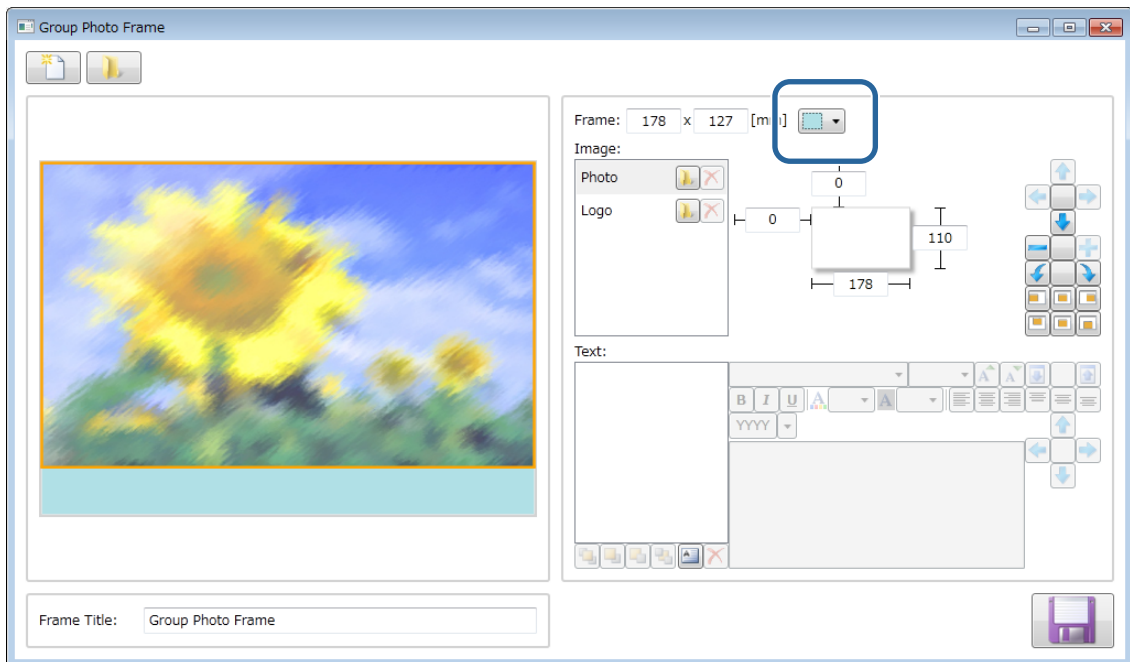
[Image:] - [Photo] が選択された状態で、数値の入力や、アイコンをクリックして調整します。

[「Group Photo Frame 画面の説明」9 ページ](#)



**4** 背景色を変更します。


[Frame:] で  をクリックし、開いた画面のプルダウンの中から色を選択します。

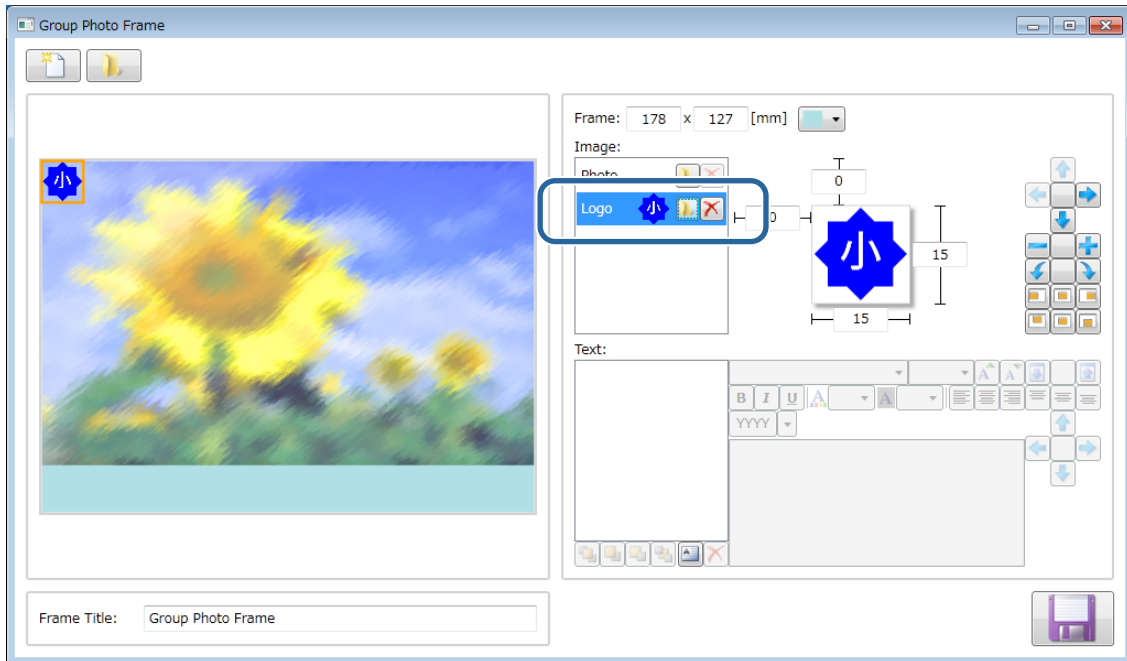


**5** ロゴ画像用の枠と画像を設定します。

フレームにロゴ画像を設定しないときは、手順 7 に進みます。

[Image:] で [Logo] をクリックします。クリックすると、プレビューエリアにロゴ枠がオレンジ色で表示されます。

 をクリックして png 形式のファイルを読み込みます。読み込むとロゴ枠内の [Image:] の部分に画像が表示されます。1 フレームに設定できるロゴ画像は 1 つです。



**参考**


- ロゴ画像は以下の条件で作成します。
  - 背景を透明にする
  - 画像形式を png 形式にする
- ロゴ画像のサイズは Logo で設定したサイズに合わせて自動で拡大/縮小されるため、あらかじめ設定するサイズに合わせたロゴ画像を作成する必要はありません。

**6** ロゴ画像のサイズ、位置を調整します。

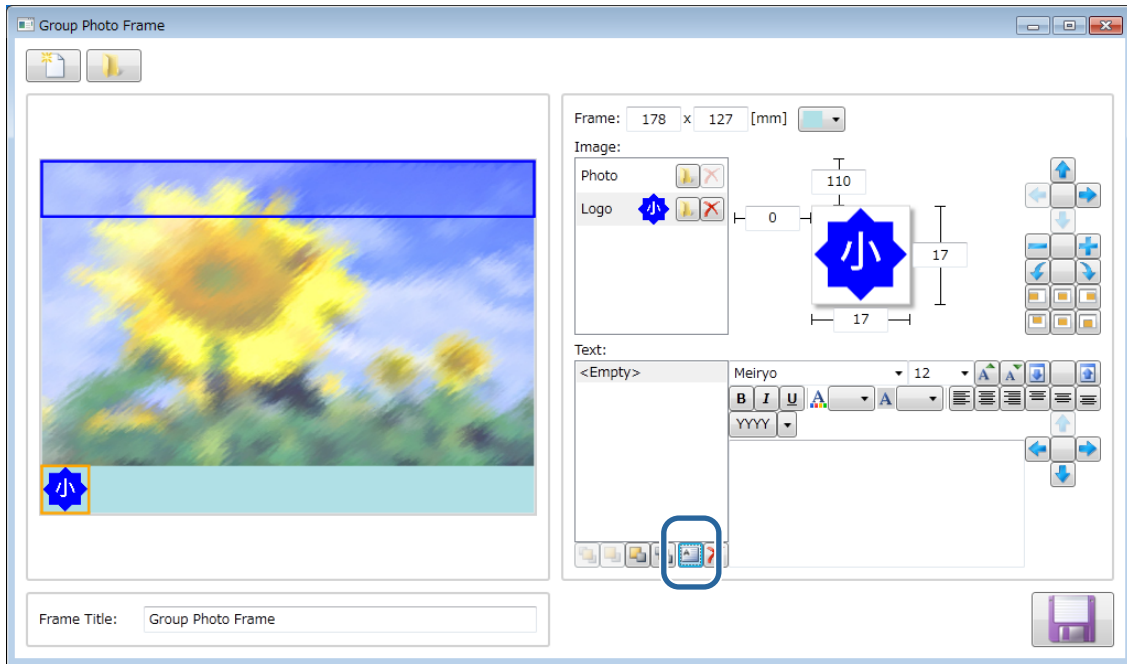
手順 3 と同様の操作をします。

 [「Group Photo Frame 画面の説明」9 ページ](#)

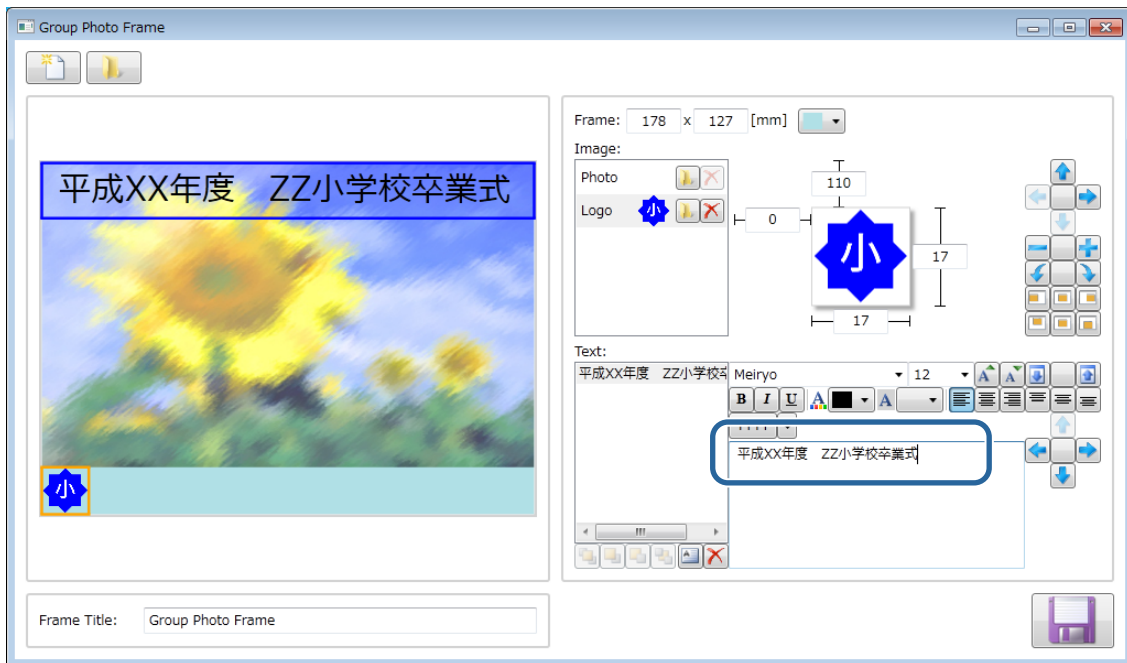
**7** 文字枠を設定します。

[Text:] で  をクリックします。クリックすると、プレビューエリアに文字枠が青色で表示されます。

文字枠は 5 つまで設定できます。



**8** 文字入力エリアに設定する文字を入力します。



**参考**

プリントする写真データの撮影日情報を入力したいときは、**YYYY** を使用します。

☞ [「Group Photo Frame 画面の説明」9 ページ](#)

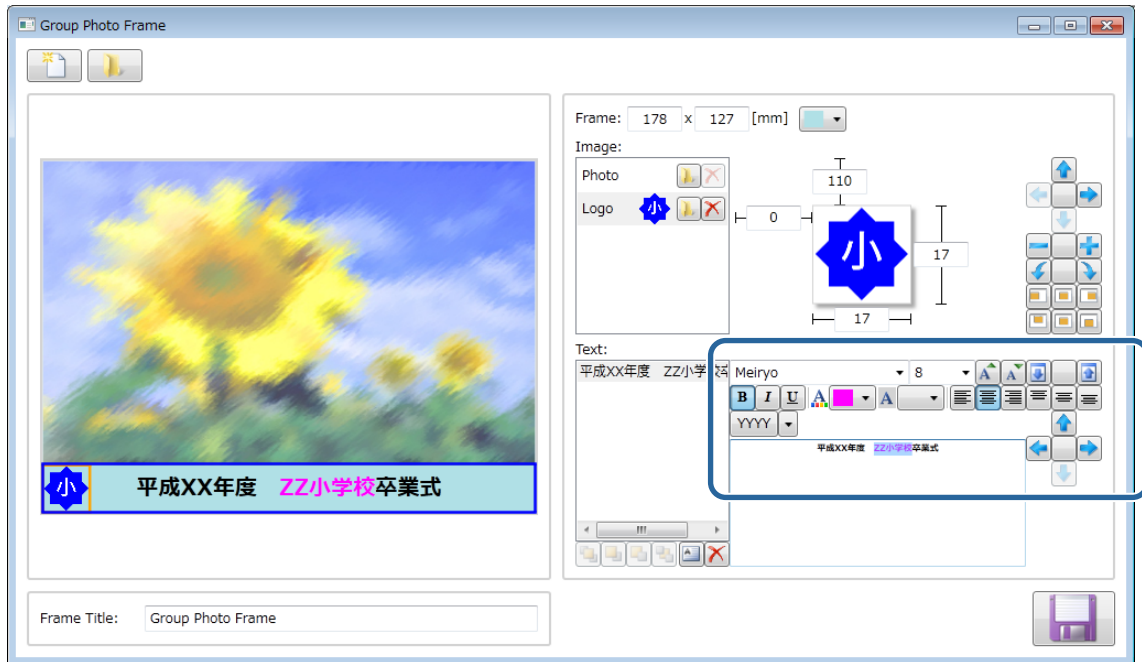
例えば、写真データの撮影日情報（2014.10.10）を使用して 10 月を表記したいときは、文字入力エリアには "\$MM\$月" と表示されているようにします。以下の手順で文字入力エリアに入力します。

① **YYYY** の **▼** をクリックし、プルダウンから [MM] を選択してから、**MM** をクリックします。文字入力エリアに "\$MM\$" が挿入されます。

②文字入力エリアをクリックし、" 月" を直接入力します。

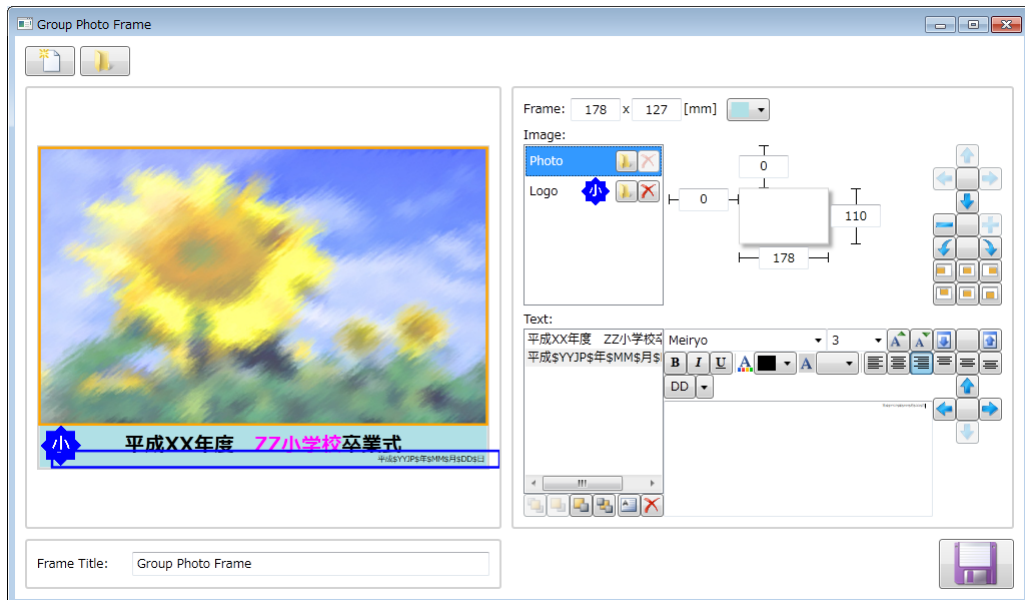
9 文字枠の高さ、位置、文字のフォントやサイズ、色、文字枠内の位置などを調整します。

🔗 「Group Photo Frame 画面の説明」9 ページ




参考

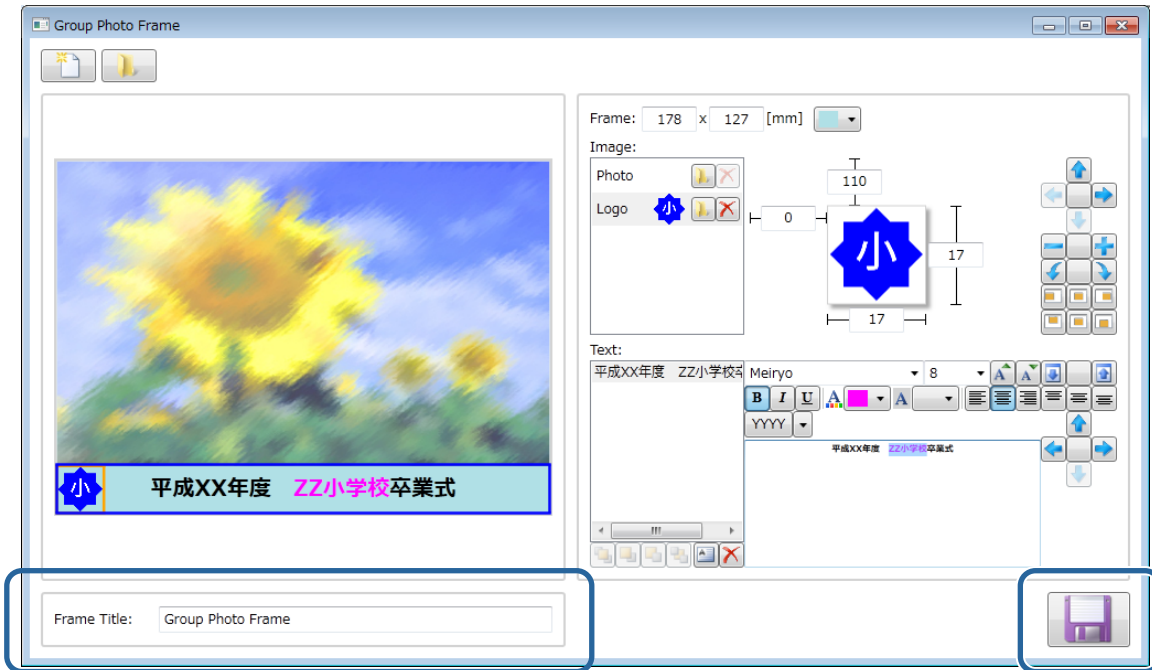
文字枠は重ね合わせるができます。タイトルの右端に別の文字枠を使用して、日付などを入れることができます。





10 作成したフレームを保存します。

[Frame Title : ] にタイトルを入力し、 をクリックして開く画面で保存先を指定してから [保存] をクリックします。





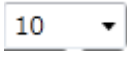






## Group Photo Frame 画面の説明



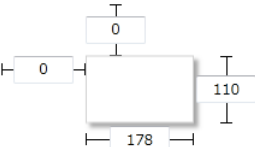




ここでは、集合写真などの写真用フレーム作成・編集機能の画面を説明します。



Frame Editor の使い方

項目	説明	
<p>① 新規フレーム作成/作成済みフレーム編集</p>	これから作成/編集するフレームを、次のどちらかから読み込みます。	
		新規フレームを作成します。フレームの書式の初期値は、以下の通りです。 サイズ:178mm (幅) x 127mm (高さ) 背景の色:白
		作成済みの集合写真フレームを読み込みます。読み込んだフレームを元にして別フレームを作成できます。
<p>② プレビューエリア</p>	作成中のフレームのイメージが表示されます。	
<p>③ Frame Title</p>	作成中のフレームの名称を入力します。全半角に関わらず、32文字まで入力できます。ファイル名の候補になるため、半角記号で以下の文字は使用できません。 ¥ / : * ? " < >	
<p>④ 保存</p>	作成したフレームを保存します。 [FrameTitle] がファイル名に入力されますが、保存画面でファイル名を変更することもできます。 ファイル名は、SureLab Layout and ID にフレームを追加したときのフレーム名としても使われます。	
<p>⑤ Text (文字設定)</p>	フレームに入れる文字を設定します。文字列枠の幅は [Frame:] で設定した幅と同じです。	
	文字枠一覧	文字枠の一覧が表示されます。編集したい文字列をクリックします。
		文字枠の表示面を、最前面、前面、背面、最背面に移動します。 文字枠一覧で文字を選択してから、設定します。
		文字枠がプレビューエリアと文字枠一覧に追加されます。文字枠は5つまで追加できます。
		文字枠一覧で選択中の文字列が削除されます。「Are you sure you want to delete?」とメッセージが表示されます。[はい]をクリックすると削除が実行されます。
		文字入力エリアで選択中の部分のフォントを変更できます。 ▼をダブルクリックし、開いた画面のプルダウンの中からフォントを選択します。
		文字入力エリアで選択中の部分のフォントサイズを変更できます。 ▼をダブルクリックし、開いた画面のプルダウンの中からフォントサイズを選択します。 直接、数値を入力して変更することもできます。
		文字枠一覧で選択中の文字列を拡大、縮小できます。
		文字枠の高さを変更できます。 <input type="checkbox"/> をクリックすると文字枠の高さを標準 (文字の大きさに依存) に戻せます。
		文字入力エリアで選択中の部分を太字にします。
		文字入力エリアで選択中の部分を斜体にします。
		文字入力エリアで選択中の部分に下線を引きます。

項目	説明	
		文字入力エリアで選択中の部分の色を変更できます。
		文字入力エリアで選択中の部分の背景の色を変更できます。
		文字枠一覧で選択中の文字列が枠内に左そろえ、中央そろえ、右そろえされます。
		文字枠一覧で選択中の文字列が枠内に上そろえ、中央そろえ、下そろえされます。
		プリントする写真データの撮影日情報を表示します。クリックすると、選択した日付形式が文字入力エリアに半角数字で挿入されます。前後に制御文字(\$)が付加されますが、プリントされません。例えば、[MM]を選択したときは、文字入力エリアに\$MM\$と挿入されます。挿入した日付形式を改行、変更すると SureLabLayout and ID で正しく表示できません。1月のように1桁のときは、プリント時は0が付いた2桁表記(01)になります。 表示される日付形式は以下の通りです。 [YYYY]:西暦の年 [YY(JP)]:和暦の年 [MM]:月 [DD]:日 [Application Text]: SureLab Layout and ID の環境設定のシステム設定タブのフレーム設定:フレーム合成テキストで設定した文字
		文字枠の位置を変更できます。文字枠が移動できなくなる位置までくると、移動できなくなる方向のボタンは選択できません。  をクリックすると標準位置に戻せます。
文字入力エリア		文字を入力します。

項目	説明
<p><b>6</b> Image (写真枠設定)</p>	<p>フレームに割り当てる写真枠/ロゴ枠を設定します。Photo または Logo をクリックして編集を切り替えます。 プレビューエリアでは写真枠/ロゴ枠はオレンジ色で表示されます。</p>
	<p>Photo (写真枠)</p> <p>フレーム内に写真が表示される範囲を設定します。自分で作成した枠を配置できます。</p>
	<p>Logo (ロゴ枠)</p> <p>自分で作成したロゴ画像をフレームに配置できます。</p>
	 <p>自分で作成した枠やロゴ画像を読み込みます。png 形式の画像のみ読み込み可能です。</p>
	 <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠が削除されます。選択した補助線が削除されます。「Are you sure you want to delete?」とメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると削除が実行されます。</p>
	 <p>各項目に数値を入れると、枠の表示位置とサイズが変更されます。単位は mm です。設定できない範囲を入力すると入力エリアの枠が赤になります。</p> <p>位置: 左側と上側の入力エリアに数値を入力します。左上が 0,0 です。 [Frame:] で入力したサイズから Photo または Logo で設定したサイズを引いた範囲までの入力ができます。例えば、 [Frame:] 178x127mm、Logo 17x17mm にしたときは、左側は 0~161 まで、上側は 0~110 まで入力できます。</p> <p>サイズ: 右側 (高さ) と下側 (幅) の入力エリアに数値を入力します。5.0mm から [Frame:] で入力したサイズまでの範囲が入力できます。</p>
	 <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠の位置を変更できます。Photo または Logo が移動できなくなる位置までくると、移動できなくなる方向のボタンは選択できません。☐ をクリックすると標準位置に戻せます。</p>
	 <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠のサイズを変更できます。☐ をクリックすると以下のサイズに戻せます。 写真枠: 178 x 127 mm ロゴ枠: 10 x 10 mm</p>
	 <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠を 90 度ごとに回転します。☐ をクリックすると標準位置に戻せます。</p>
	 <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠がフレーム内に左そろえ、中央そろえ、右そろえされます。</p> <p>Photo または Logo どちらか選択中の枠がフレーム内に上そろえ、中央そろえ、下そろえされます。</p>
<p><b>7</b> Frame</p>	<p>フレームサイズ (幅 x 高さ) と背景の色を変更できます。設定範囲は 82.5~600.0mm です。</p>

**参考**

終了時にフレームを保存していないときは、「Settings have been changed. Do you want to discard you changes?」とメッセージが表示されます。[いいえ] をクリックし、保存してください。保存する必要がないときは、[はい] をクリックしてください。

